

【考察】

コロナ禍で若い世代は発熱しても軽症で済むことが多いことから、発熱者もしくは家族によって抗原定性検査キットを利用して陽性が判明した際は医療機関を受診しなくてもHERSYS登録が出来るシステムを確立するなど沖縄県、沖縄県医師会で共働り取り組んできた。しかし、今回の第七波では発熱者がこれまで以上に急増した結果、総合病院の救急外来に検査を求めて患者が殺到する事態になった。その中で冒頭紹介したように、普段なら助けられる患者が助けられなかったという事態が発生した。特に問題となったのは多くの医療機関が診療していない準夜帯、土曜日の午後、日曜日・祝日の時間帯への影響であった。

今回沖縄県医師会は土日の準夜帯にドライブスルー方式で簡易かつスピーディーに検査を行いながら、その結果は電話診療で対応し方針を決めるという方法を行った。このコロナ禍の3年の経験で私たち医療従事者が会得したのは電話診療でも最低限の全身状態の良し悪しは判断できるということではないであろうか。それを活かしたのが今回の方法であった。対面診療が必要と判断したときは、沖縄県立南部医療セン

ター・こども医療センターが快く引き受けてくれたので、そのバックアップ体制の基、安心して取り組むことが出来た。

今後、2023年はじめには第8波の発生が沖縄でも危惧されている。第7波の時に取り組んだように当会が行った本センター、また他の地区医師会では各地区医師会会員の協力を得てそれぞれの地域で臨時発熱外来、抗原検査センターの設置を、第8波が発生した際に迅速に立ち上げられるように現在話し合いをはじめている。非常時こそ、医師会のネットワークが活かされる時である。これから新興流行感染症が発生した時に、我々医師会に何が出来るかを医師会会員皆で議論し対応出来ればと考えている。

最後になりましたが、今回の事業にご協力いただきました当会の涌波淳子理事、玉城研太郎理事、沖縄県小児科医会会長の浜端宏英会長をはじめとすご協力いただきました先生方、そして沖縄県臨床検査技師協会会長の手登根稔会長をはじめとすご協力いただきました検査技師の皆様、誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

お知らせ

感染症情報

所管課よりお知らせ

※ 新型コロナウイルス感染症関連の対応の為、当分の間週報の還元を休止させていただきます。申し訳ございませんが、ご了承の程よろしくお願い致します。

なお、沖縄県感染症情報センターでも沖縄県の感染症情報を更新しておりますのでご確認下さいませよう、宜しくお願い致します。

【 <https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html> 】

